新「美祢市」誕生にあたって

美祢市長職務執行者
（旧美祢市長）
小竹　伸夫

平成20年3月21日、美祢市・美東町・秋芳町の1市2町が合併し、人口約2万9千人、面積約472平方キロメートル、山口県の西部中央に位置する新生「美祢市」が誕生いたしました。

この歴史的な日を迎えるまでの間、住民の皆様をはじめ関係各位の皆様から頂きましたご支援、ご尽力に対しまして、改めて深く感謝を申し上げる次第であります。

平成16年1月9日に美祢市・美東町・秋芳町合併協議会を設立して、27回に及ぶ合併協議を重ね、昨年2月13日の合併協定書の調印を経て、今日まで新市の事務事業が円滑にスタートできるよう調整を図ってまいりました。

これまで、旧1市2町は、それぞれの地域において市民の皆様の生活を守り、歴史・文化・伝統を育むとともに、まちの整備や振興を図り、豊かで住みよいまちづくりに取り組んでまいりました。

しかしながら、今日の社会情勢は、厳しい経済状況はもとより、先の見えない国際情勢とともに、環境、安全、福祉、教育など、複雑かつ多様化する多くの課題を抱えているところであります。とりわけ、行財政改革は喫緊の課題とされており、地方自治体を取り巻く状況は、地方分権の推進によって、まさに変革の時代を迎えております。このような時代背景により、少子高齢化をはじめとする社会構造の変化や行政に対する住民ニーズの多様化・高度化が進行する中、市民の皆様が安心して豊かに暮らせるよう、広域的視点に立ったまちづくりと施策展開、都市規模の拡大によるイメージアップなど『美祢市』の誕生を契機として、合併によるスケールメリットを最大限に生かし、住民ニーズに応じた行政サービスの維持・向上に努めるとともに、行政は一層の効率化を高める勇気のある転換が必要と考えます。そのためには、市民の皆様と行政が一体となって、新たなまちづくりに果敢にチャレンジし、この困難な時代を乗り越えていく必要があると考えます。

新生「美祢市」は、直面する多くの課題を抱えておりますが、それらを正面から受け止め、課題解決に積極的に取り組む必要があります。これまで築き上げてきた歴史・文化・伝統や豊かな自然など、各地域特有の多様な地域資源を最大限活用するとともに、全体の調和を念頭に置き、新市基本計画の将来像に掲げる『自然と調和し、潤いと活力にみちたやすらぎと交流の郷』の実現に努めてまいりますので、皆様のより一層のご支援ご協力を、心からお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

美祢市の概要

人　口　２９,８３９人
男　１３,８２４人　女　１６,０１５人

世帯数　１０,６４６人
１世帯当たりの人員　約2.８人

※人口・世帯数は平成１７年国勢調査速報値

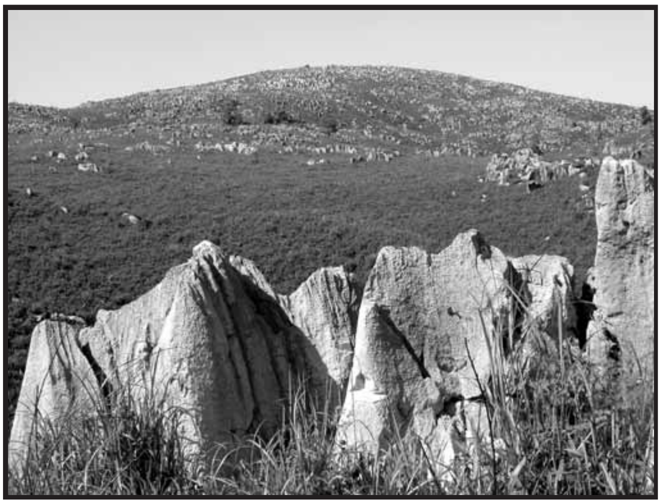
教育・文化・福祉
市立保育園　１０園
市立小学校　２２校
市立中学校　８校
図書館　３館
文化財施設　４館
市立病院　２カ所

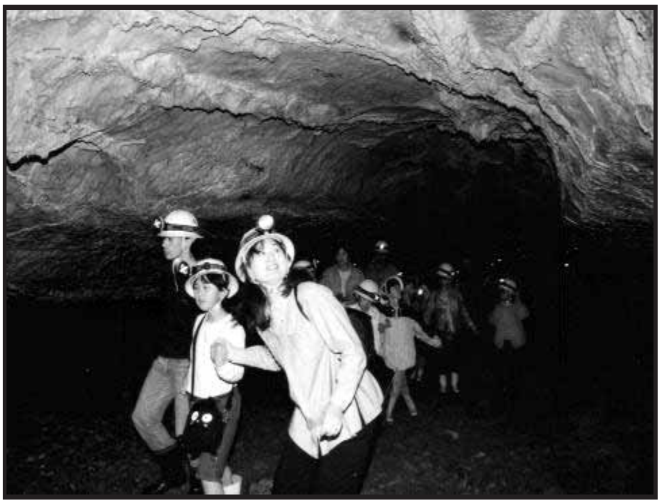
面　積　４７２.７１km²
耕地面積　３,１１９ha
林野面積　３５,７６１ha

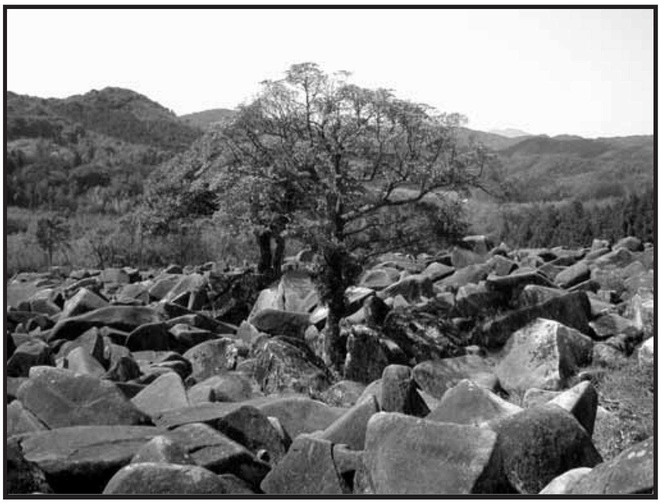
主な山岳
西鳳翩山　標高７４２m
桂木山　標高７０２m
矢櫃山　標高６５３m
鯨ヶ岳　標高６１６m
大　滝　標高６０８m
天井山　標高６０２m

主な河川
二級河川　厚東川　流域面積４０５.３km²
二級河川　有帆川　流域面積６４.４km²
二級河川　厚狭川　流域面積２５１.８km²

美祢市の見どころ


秋　吉　台


景清洞の洞くつ体験


大　岩　郷

秋　芳　洞